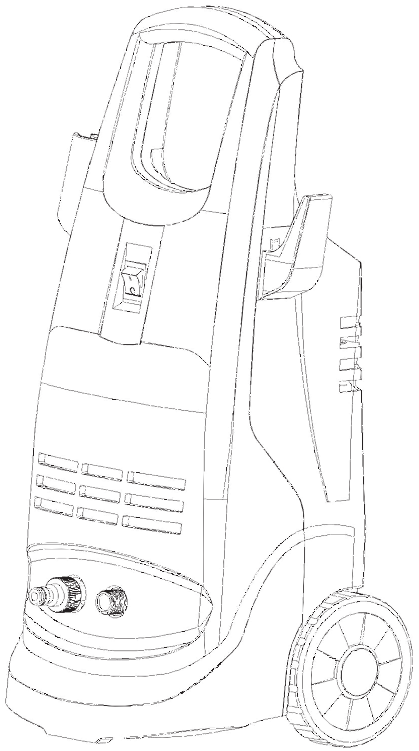
ハイプレッシャーウォッシャー

取扱説明書

品番：ES-1160B

製造番号：XF-6090-AS

保証書付き



この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。ご使用いただく前に必ずこの取扱説明書を良くお読みいただき、使用上の注意事項、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願い致します。

この取扱説明書は、大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

商品および取扱説明書にはお使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明	
⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う事が想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う事が想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事故は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

⚠ 警告　安全作業のために

1. 作業場はいつも綺麗にしておく

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

2. 作業場の周囲状況も考慮する

電動工具は、雨にさらしたり湿った場所でのご使用はやめてください。
作業場は十分に明るくしてください。
可燃性の液体やガスのある近くで使用しないでください。

3. 感電しないようにする

電動工具を使用中にアースされているものに身体を接触させないでください。
（例：パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など）

4. 子供の近くで使用しない

近くの人に電動工具やコードに触れさせないでください。
お子様を、作業場に近寄らせないでください。

5. 使用後は安全な場所に保管する

乾燥した場所でお子様の手の届かない安全な場所に保管してください。

6. 無理に使用しない

安全に能率よく作業するために、電動工具の性能に合った速さで作業してください。

7. 作業は相応の服装で行う

サイズの大きい衣類やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
長い髪も、作業中に巻き込まれる恐れがありますので、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 保護メガネを着用する

作業中は、保護メガネを使用してください。

9. 防音保護具を着用する

騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆いなどの防音保護具を着用してください。

10. 作業場の周囲状況も考慮する

電動工具は、雨にさらしたり湿った場所でのご使用はやめてください。
作業場は十分に明るくしてください。
可燃性の液体やガスのある近くで使用しないでください。

11. コードを乱暴に扱わない

コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
コードを熱、油、角がとがったところに近づかないでください。

12. 不意な始動は避ける

電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください

13. 製品は、注意深く手入れする

注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
コーは定期的に点検し、損傷している場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
握り手は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

14. 次の場合は、電源工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く

使用しない、または修理するとき。
その他の危険が予想される場合。

15. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外す

電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

16. 無理な姿勢で作業をしない

常に相本をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用する

屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで注意しながら作業する

電動工具を使用する場合、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
病気だったり、疲れているときは使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検する

使用前に部品に損傷がないか充分に点検し、正常に作動するか、または所定機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

20. 正しい付属品やアタッチメントを使用する

この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

21. 製品の修理は、専門店に依頼する

この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例である騒音規制以下でご使用になる恐れがありますので、必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

高圧洗浄機をご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、高圧洗浄機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項をお守りください。

⚠ 警告　ご使用にあたって

1. 規定電力を必ず守る

表示を越える電圧で使用すると、過付荷よる発熱、火災の原因になります。

2. 本体に水をかけたり、雨中で使用しない。またぬれ手で、電源プラグやコードに触れない

感電の恐れがあります。

3. 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

他の器具を併用すると、分枝コンセントが発火炎上する場合があります。

4. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に電源スイッチが OFF になっていることを確認する

コンセントに差し込んだと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。

5. 製品の使用定格時間は 15 分です 15 分以上の連続使用はしない

モーターの異常加熱などで故障する恐れがあります。

6. バケツの水を使用する場合

バケツの水が急速に減るので、ご使用の際には常にバケツの水があるか確認してください。

7. ガソリン、オイル、有機溶剤などの可燃性液体や有害液体、その他の不適切な液体は使用しない

水道の蛇口から水を供給してください。
水道水以外は使用しないでください。

8. 洗剤は中性洗剤のみ使用する

それ以外の洗浄剤または化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を与えることがあります。

9. 高圧ホースと本体の接続部分は、リングを手で回し、確実に締付ける

確実に締まっていない場合は、作業中に脱落し、高圧水が吐出され、けがの原因になります。

10. 延長コードを使用するときは、機械の能力に合った、充分な太さの延長コードを使用する

11. 水の圧力を確かめるために、噴射している水に手を当てることは、絶対にしない

非常に高圧の水が噴射しているため、けがの原因になります。

12. ガンのレバーを、ひもや針金などで固定して使用しないでください。

とっさのとき、噴射を停止することができず、けがの原因になります。

13. 両手でガンをしっかり握り、不安定な体勢で使用しない

確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。

14. 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業する

確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。

15. 衣服または履物類を洗浄するために、ノズルを自分自身または他人に向けない

高圧水が噴射され、けがの原因になります。

16. 対象物に損傷が生じる恐れがある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業する

バイクやお車などにラベル、シールなどが貼ってある場合は、十分注意してご使用ください。ラベル、シールの状態によっては、はがれる恐れがありますので、その部分は避けてご使用ください。
タイルやコンクリート等の床や壁を洗浄する際は、タイルやコンクリート等がはがれる恐れがあります。またはがれたタイルやコンクリート等が、人や動物、物に飛んで当たる恐れがありますので、十分注意して作業してください。

17. 車のタイヤを洗浄するときには、ノズル先端から最低 30cm 以上離して洗浄する

接近しすぎた場合、タイヤを損傷し、重大事故の原因となる場合があります。
損傷、または表面の色が変色した場合には、直ちに専門家に点検を依頼し、安全を確認した後、使用してください。

18. 車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部やカバー部分などに直接噴射しない

グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
時々グリスアップなどの点検をしてください。

19. 作業を中断するときや付属品を交換するときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く

誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。

20. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止しお買上げの販売店に点検、修理を依頼する

けがや故障の原因になります。

21. 電源スイッチを切った後は、ガンのレバーを握り、圧力を抜いてください。圧力が残っていると、ガンから高圧な残水が噴射され、けがの原因になります。

ノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから圧力を抜いてください。

22. 使用後、または停電のとき、点検・整備するとき、長時間離れるときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く

けがの原因になります。

23. 子供に使用させない

保管する際は、子供の手の届かない所へ保管してください。人や物等乗せないでください。けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

1. 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置する

故障の原因になります。

2. 本機を誤って落としたりぶつけたりしない

故障の原因になります。

3. 車の洗浄は、ノズルをスプレー噴射側にして使用する

水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モール類のはがれの原因になることがあります。

4. 噴射の際は、ラベル類周辺などに直接噴射しない

水圧により、ラベル類がはがれる原因となることがあります。

5. 凍結から本機を守るために、5℃以下になる場所には保管しない

水が凍り、故障の原因になります。

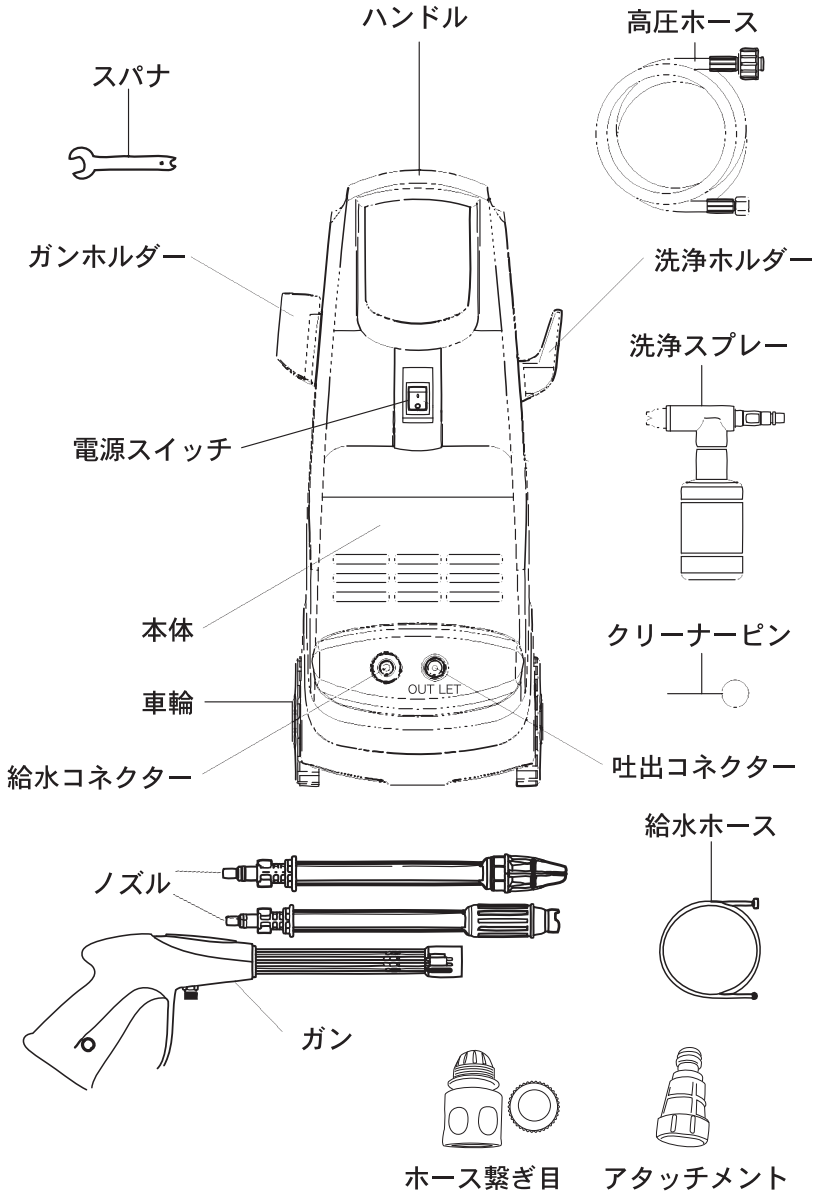
6. 作業中の本体設置場所に注意する

本体から少量の水漏れ(1分間に数滴程度：異常ではありません)が発生することがあります。

商　品　詳　細

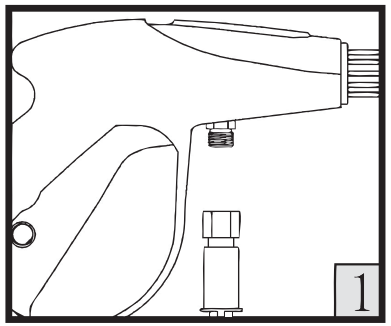
品　番	ES-1160B
製造番号	XF-6090-AS
サイズ	約 W26.5×D30×H67cm
重　量	約 8.5kg
材　質	PP（ポリプロピレン）、PA66（ポリアミド 66）、銅
定格電力	AC100 50/60Hz
消費電力	1800W
通常吐出圧力	8MPa（80bar）
最大吐出圧力	12MPa（120bar）
最大給水圧	0.3MPa
吐出水量	5.5L/min
最大出水量	7L/min
許容水温	60℃

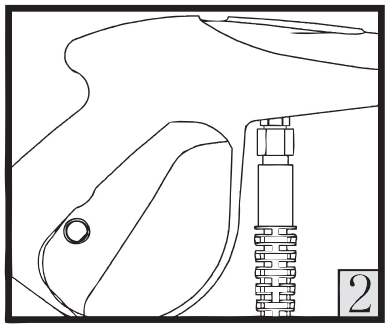
各部の名前



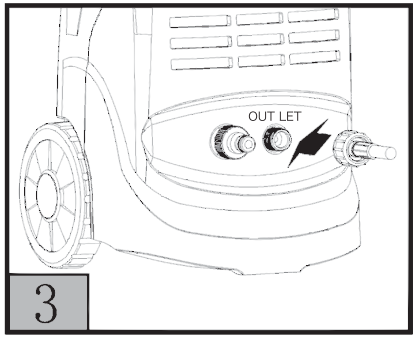
ご使用の前に

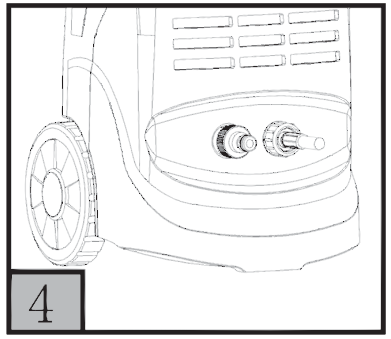
1. ガンにしっかりホースを差し込みます。 17mmのスパナを使用して、
   ねじをしっかり締めます。(図 1、2)





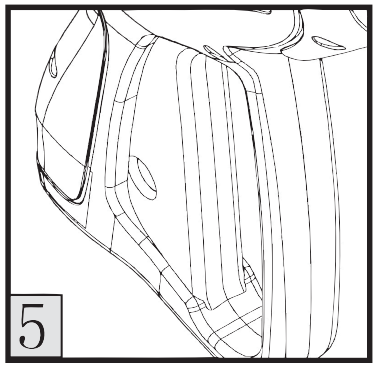
2. 高圧ホースを吐出コネクターにつなぎます。(図 3、4)
   ※注意！：製品が届いた時に、吐出コネクターにキャップが付いています。
   キャップを取り外してご使用ください。

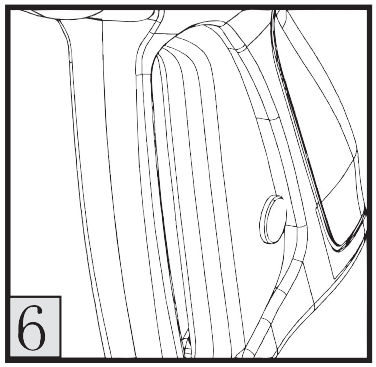




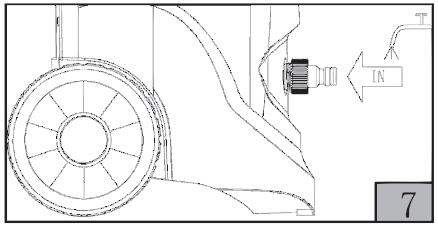
3. 手できっちりコネクターを閉めてください。
   接続がしっかりされているか、確認してください。

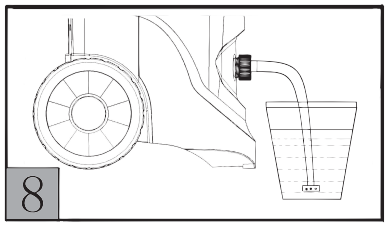
4. 制御ボタンをレバーの中に押し込み、ロックしてください。(図 5、6)





5. 給水コネクターにホースをつなぎます。(図7)
   バケツの水に給水ホースを差し込みます。(図8)
   接続がしっかりされているか、確認してください。



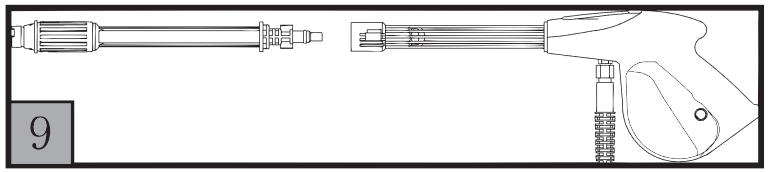


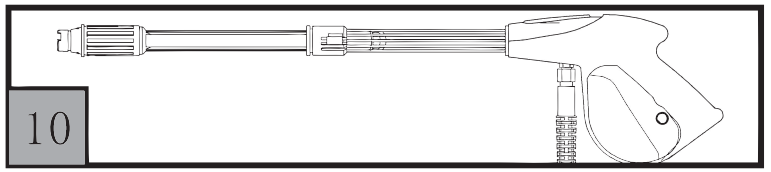
水道から水を供給する

水道から水を供給する場合は、給水コネクターにアタッチメントを取り付け、その上にホース繋ぎ目を取り付けてください。
ホース繋ぎ目に、ご用意されたホースの片方の先を繋ぎ、もう片方の先を、水道の蛇口に取り付けてください。
※注意！：水道に繋ぐホースは、付属されておりませんのでご了承ください。

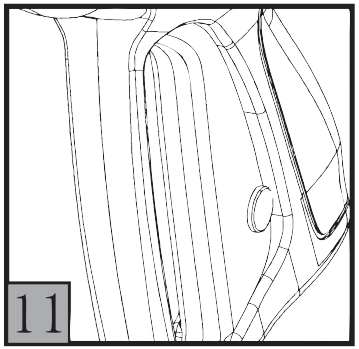
ご使用の前に

6. 給水ホースとつないだガンにノズルをつなぎます。(図 9,10)
   接続がしっかりされているか、確認してください。





7. 蛇口を開き、水を出します。
8. 電源プラグをコンセントにつなぎます。
9. 制御装置のロックを解除します。

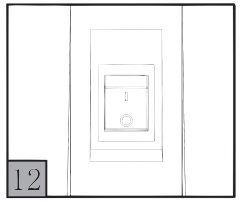


警告

- ●使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示(100V)を超える電圧で使用すると過電圧による発熱、火災の原因になります。
- ●電源スイッチを入れる場合は、必ずノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから行ってください。けがの原因になります。

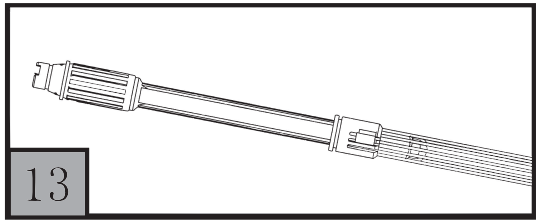
ご使用の前に

10. ＯＮ/ＯＦＦのスイッチをＯＦＦにしてください。(図１２)



スプレーの調整

ノズルは、スプレー噴射から直噴射まで、用途に合わせてスプレー調節をすることができます。以下の手順に従って調節を行って下さい。



スプレー噴射

水流が直線上に噴射します。汚れのひどい農機具の泥落としなどに適しています。

拡散噴射

水流が扇状に広がって噴射されます。バイクや車などの洗浄に適しています。

1. 片方の手で、ノズルを持ってください。
2. もう片方の手で、ノズルを回します。
3. スプレー噴射は、狭い場所の掃除に最適です。
4. 拡散噴射は、広い場所の掃除に最適です。

⚠ **注意**

拡散角の調整は、あらかじめ直噴の位置にしてガンのレバーを握り、水を出しながら必要な角度までノズルの先端を回してください。
最も拡散方向に回してガンのレバーを握ると、水が横方向に飛ぶ場合があります。周囲の状況に十分注意して洗浄作業を行ってください。

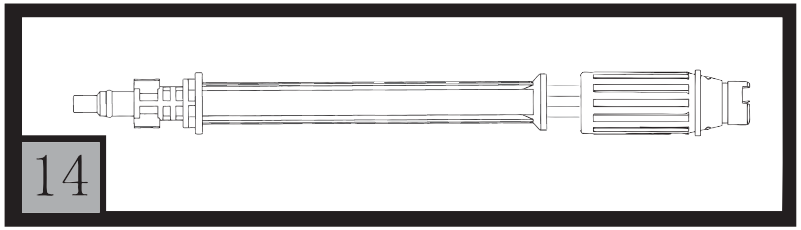
吸水機能について

本製品は、バケツなどに入っている水を汲み取って高圧で水を出すことが出来ます。

○ ノズルを低圧にします。
○ 水の深さは４０ｃｍ以上、必要です。
○ ノズルから水が流れ始めた後、スイッチを高圧にしてください。(図１４)

⚠ **注意**

バケツの水は、水道直結と違い急速にバケツの水が減りますので、水の減り方に木を付けてください。



水の噴射について

本製品には、使用時の安全のためストッパーがついています。

○ レバーから手を離すと、水は止まります。
○ レバーを握ると、再び水は噴射し始めます。

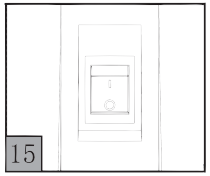
製品の作動について

ご使用にあたって

本製品をご使用の際には、下記の手順に従ってご使用ください

1. 使用前に、本体が正しく組み立ててあるかお確かめください。
2. ＯＮ/ＯＦＦスイッチを押して電源をＯＮにします。
3. スプレーを調整してください。
4. ガンのロックを解除し、ノズルを洗浄する場所に向けてください。
5. ガンのレバーを引きます。
6. 洗浄を始めます。

使用後について



本製品をご使用の際には、下記の手順に従ってご使用ください

1. 使用前に、本体が正しく組み立ててあるかお確かめください。
2. ＯＮ/ＯＦＦスイッチを押して電源をＯＮにします。
3. スプレーを調整してください。
4. ガンのロックを解除し、ノズルを洗浄する場所に向けてください。
5. ガンのレバーを引きます。
6. 洗浄を始めます。

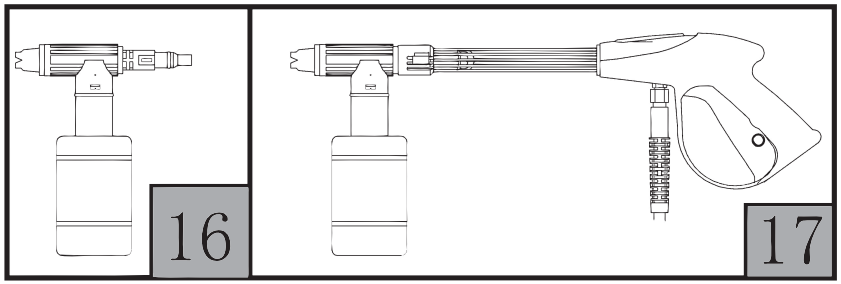
⚠ 注意

●電源スイッチを入れる前に水が本機内に流入しているか確認してください。
●電源スイッチを入れる場合は、必ずガンのレバーを握り、ノズルを安全な方向に向けてからスイッチを入れてください。
●ガンのみを片手で操作しますと反動で先端部がはね上がり、けがの原因となりますので、しないでください。
●使用中に本体下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所に注意してください。
●水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
●ガンのレバーを、ひもや針金などで固定して使用しないでください。とっさのときに噴射を停止することができず、けがの原因になります。

洗浄スプレーの取り付け

洗浄スプレーの取り付け方法は、以下の手順に従ってください。

1. ガンがロックされていることを確かめてください。
2. 液体洗浄をボトルに入れてください。
3. ボトルに洗浄用スプレーのチューブを差し込み、ノズルをビンの口に合わせ、回してください。(図１６)
4. ホースのつながっているガンに、洗浄スプレーノズルをつなぎます。
5. ガンのロックを解除し、スプレーする場所にノズルを向けます。
6. ガンレバーを引きます。
7. 洗浄を始めます。



⚠ 警告

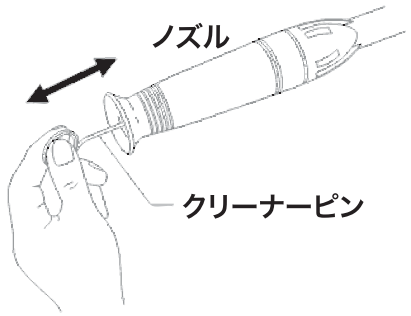
●付属品を取替えるときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
●酸性、アルカリ性洗浄剤は使用しないで下さい。洗剤は中性洗剤のみをご使用下さい。それ以外の洗浄剤や化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を及ぼすことがあります。

保管について

- ■ ホース・ガン・ノズルを外し、安全で乾燥した場所に保管してください。
- ■ お子様の手の届かないところに保管してください。
- ■ 高温・多湿・直射日光を避け、5℃以下の場所に保管してください。
- ■ 高圧洗浄機・ガン・ノズルが保管前に十分に手入れされていることをお確かめください。

⚠
- ● 本製品は、性能を保つためにも定期的にお手入れしてください。
- ● ケーブルが傷んだ場合は、直ちにご使用をお止めになり、お近くの専門店または、お買い求め販売店にお申し付けください。

ノズルクリーナーピンについて



付属品のノズルクリーナーピンで定期的にノズル穴の掃除を行って下さい。ノズルが詰まっていると水のでが悪くなり、十分な性能を発揮できません。

ノズルが詰まっているかどうかは、必ずノズルをガンから取出した状態でノズル穴をのぞき込み、穴が通じているかを確認して下さい。

各部取付けネジの点検

ネジなどのゆるみが無いか確認して下さい。もし、ゆるみがあるときは締め直してください。

使用後の手入れ

●油汚れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいて下さい。乾いた布か石鹸水をつけた布で本体を拭いて下さい。

●ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないで下さい。

トラブルシューティング

症状	原因	処置
スイッチを入れても動かない	－電源コンセントが電源プラグから抜けている。 －延長コードが途中で切れたり、断線している。 －ガンのレバーを握らないでスイッチを入れている。	－電源プラグをコンセントに差しこんで下さい。 －延長コードを取替えるか、または他の電気用品で試してみて下さい。 －ガンのレバーを握ったままスイッチを入れて下さい。
勢いよく水が出ない。または、水の勢いが変わる。	－水道の蛇口を全開にしていない。ノズルが詰まっている。 －ノズルが消耗している。 －給水コネクタ部のフィルタにゴミがつまっている。 －ホースやコネクタの接続部から水漏れが発生している。（使用開始時は本体内やホースに空気がたまっているため水の出が不安定になることがあります。） －たこ足コンセントを使用している（過電流がかかっている）。電子レンジやドライヤーなどの消費電力の大きい家電を同時に使用している。 －規定電力外で使用している。	－全開にして下さい。ノズルクリーニングピンでノズル穴をお手入れして下さい。 －ノズル交換する。 －フィルタのゴミを取除いて下さい。 －接続をやり直して下さい。または販売店へご相談下さい。本体内やホース内の空気が抜けるまで水を出し続けて下さい。 －たこ足コンセントをやめ、定格15A以上の電源コンセントに単独で使用して下さい。消費電力の大きい製品と同時に使用しないで下さい。 －指定の電圧でご使用下さい。
ブレーカーなどでオーバーロード保護装置がかかる。	－ガンのレバーを握らないでスイッチを入れている。 －延長コードの太さが細すぎる。 －延長コードをリールに巻いたまま使用している。	－ガンのレバーを握ったままスイッチを入れて下さい。 －十分な太さの延長コードをご使用下さい。 －リールに巻いているコードを全て引き出して使用して下さい。
ガンのレバーを離してもモーターが止まらない。	－給水コネクタ内のパッキンが欠品している。または、ネジ山が傷んでいる。	－販売店へご相談下さい。
給水コネクタから水漏れする。	－給水コネクタがよくしまっていない。 －水道ホースやジョイントの近くが曲がっている。	－給水コネクタを交換して下さい。 －給水コネクタをネジ山に合わせて強く締め込んで下さい。ジョイントに曲げる力が加わらないようにまっすぐに水道ホースを設置して下さい。
給水コネクタ以外の水漏れがする。	－水漏れ箇所を確認する。	－ホースやガンの接続部を締め直して水漏れ箇所を修理して下さい。または販売店へご相談下さい。